

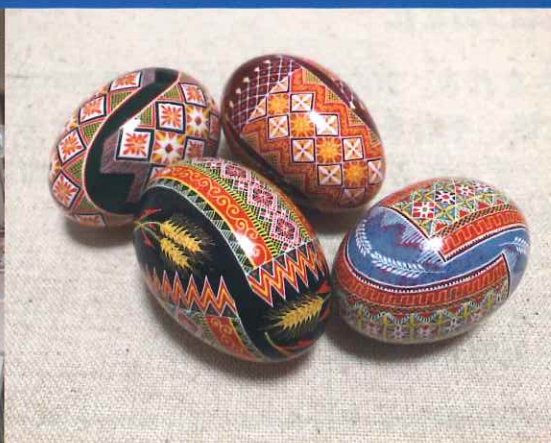
10月16日(日)

ウクライナ人道支援  
伝統工芸展 & トークイベント

場所：茅ヶ崎市民文化会館 1階展示室

ウクライナ 伝統工芸作家 テチャーナ・ソロツカさんご家族をお招きし、ウクライナのイースター・エッグ「プーサンキ」や「刺繍」、ロシアによるウクライナ侵攻の写真などを展示します。

展示の合間に、ソロツカさんによるプーサンキ制作の実演と、ご家族によるウクライナの文化・歴史・現状についてのトークイベントを開催します。



展示 10:00~17:00 (入場自由)

実演 ①10:30~11:00 ②14:30~15:00

トーク&質問コーナー

(各回 定員80名 事前申し込みが必要です)

①11:00~12:00 ②15:00~16:00

トークイベント申込み・問い合わせ  
(8/25受付開始)

Web:

<http://bit.ly/3d01jhx>

電話: 090-1557-7789(事務局)  
090-2314-8690(石井)



会場に募金箱を設置させていただきます。募金は全て「日本ウクライナ友好協会」に寄付し、ウクライナ国内での人道支援に使われます。

主催：  茅ヶ崎市国際交流協会

協力：Stand With Ukraine Japan

後援：茅ヶ崎市・国際ソロプチミスト茅ヶ崎  
日本ウクライナ友好協会



## 展示品

\*販売はいたしません

### プーサンキ

ウクライナの伝統的なイースターエッグ。キストカという道具に蜜蝋を入れて火で溶かしながら線を描き、染料につけて染めることを繰り返し、卵の殻に精緻な模様を染め付けて作る。動物、花、十字架、幾何学模様など、それぞれの模様に象徴的な意味があり、祈りを込めて古くから作られてきた。本展示には、ソロツカさんの作品とともに、企画に賛同した日本人作家の作品も出品される。

### 刺繍&モタンカ

ウクライナ刺繍の特徴は、表だけでなく裏も美しいこと。地域によって模様や技法が異なる。「ヴィシヴァンカ」と呼ばれる民族衣裳などに施され、病気や災いから身を護るための魔除けの意味がある。「モタンカ」はウクライナの魔除け人形で、針を使わず布に糸をグルグルと巻き付けて作る。顔は十字に結ばれていて、目が無いのが特徴。展示の刺繍・モタンカは、イリーナ・ヴェトロヴァさんと生徒さんの作品。



### テチャーナ・ソロツカさん

旧ソ連統治下にキーウで生まれる。2000年来日、川崎市在住。1991年のウクライナ独立後、それまで禁止されていたウクライナ文化について学び、プーサンキの作り方を独学で習得。約10年前からプーサンキ教室を開催する。ロシアによるウクライナ侵攻後、支援ボランティアグループ「Stand With Ukraine Japan」に参加。家族や仲間とともに、各地でチャリティー展示会を開催している。



### Stand With Ukraine Japan

日本に住むウクライナ人によるボランティア団体。SNSで参加を呼びかける形で、さまざまなウクライナ支援イベントを開催している。



<https://linktr.ee/swujapan>



### 寄付先：日本ウクライナ友好協会

2000年設立。在日ウクライナ人同士、および日本人との交流活動を行う。ロシアによるウクライナ侵攻後、支援金の受け付けを開始。寄せられた資金を随時ウクライナ国内でボランティア活動を行っている団体等に直接送金、避難民への食糧、医薬品、日用品などに充てられている。サイト上で募金額と使用用途を公開している。

<https://www.kraiany.org/ja/>

